ISO 9001
認証取得

shindaiwa

取扱説明書

エンジン刈払機

R2200-S

Softスタート

目　次	頁
1．安全にご使用いただくために	2
1－1　ご使用前に	3
1－2　キックバック	6
1－3　給油	6
1－4　始動	7
1－5　作業	8
1－6　停止	9
1－7　点検・整備	9
1－8　移動・保管	10
2．各部名称	11
3．組立の手順	13
3－1　外観と付属部品のチェック	13
3－2　ハンドルの取り付け	13
3－3　スロットルレバーの遊び調整	15
3－4　安全ガードの取り付け	15
3－5　刈刃の取り付け	16
4．エンジンの始動と停止	18
4－1　燃料の補給	18
4－2　エンジンの始動	19
4－3　始動困難なとき	21
4－4　停止	22
5．刈払作業	23
5－1　肩掛けバンドの掛け方	23
5－2　操作の方法	24
6．点検・整備	27
6－1　エアクリーナーの掃除	28
6－2　キャブレターの調整	28
6－3　スパークプラグの点検	29
6－4　シリンダフィンの掃除	30
6－5　燃料フィルターの掃除	31
6－6　ギヤケースのグリース補給	31
6－7　刈刃の目立て	32
7．長期保管	32
8．故障の診断と処置	33
8－1　エンジンが始動しない場合	33
8－2　力がない場合	34
8－3　その他の故障	35
9．主な消耗品	36
10．仕様	37

⚠ 注意：ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、内容をよく理解したうえでご使用ください。不適切な操作や保守は重大な事故につながるおそれがあります。なお、この取扱説明書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。

新ダイワ工業株式会社

はじめに

新ダイワ刈払機をご購入いただきありがとうございます。この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を十分理解し、安全に使用してください。この取扱説明書で分からないことがありましたらお求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

刈払機は高速で回転する刃物で草刈りや下刈りをする機械です。人的負傷、火災を予防するために安全を常に心がけてください。不注意または不適切な使用は重大な事故の原因になります。

シグナル用語の説明

この取扱説明書は次のシグナル用語を使用しています。

⚠ 危　険 **取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。**

⚠ 警　告 **取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。**

⚠ 注　意 **取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。**

1．安全にご使用いただくために

警告ラベルの説明

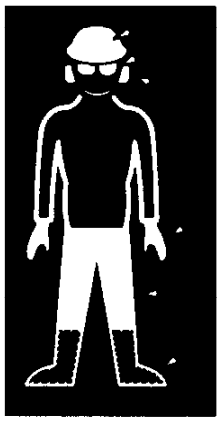


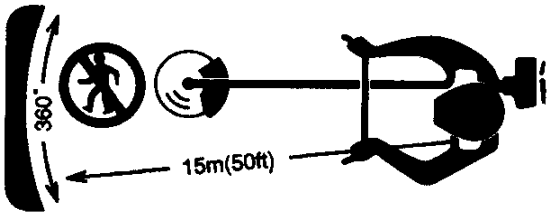
この取扱説明書をよくお読みください。



この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネ保安帽を着用してください。

作業中は必ず帽子、保護メガネ、耳栓、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用ください。





この機械を運転中は15m以内に他の人を近づけないでください。



飛散物に注意ください。



安全ガードを取り外して作業しないでください。

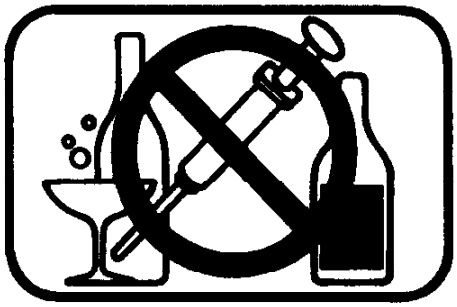
1－1　ご使用前に

⚠ 危　険

■ 取扱説明書を読んでいない人や年少者（子供）に刈払機を使用させないでください。
■ 本機を他人に貸す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
■ はじめて刈払機を使用する方は使用方法を販売店などからよく教わり、使用方法を十分習得してから使用してください。
■ 枝打ち作業など、草刈り、下刈り以外の用途に使用しないでください。
■ 作業に適した刈刃を使用してください。
・のこ刃＝細い木など（太い木は切らないでください。）
・笹刈刃＝笹・草全般（木は切らないでください。）
・チップソー＝草・木など（刃の形で切るものが異なりますので、その刃の用途をよく確認ください。）
異なった用途への使用は、刈刃の破損やけがのもとになりますので、刈刃の用途をよく確認してご使用ください。
■ 作業中は石、金属やプラスチックなどに刈刃を当てないでください。刈刃が破損、飛散し、危険です。
■ 刈刃が石などの硬いものに当たったときは、ただちにエンジンを停止し、刈刃が停止した後に、刈刃に異常がないことを確認してください。異常がある場合はただちに新しい刈刃に交換してください。
■ 曲がり、変形、クラック、破損の生じた刈刃は廃却し、使用しないでください。
■ ガードが取扱説明書にしたがって、しっかりと取り付けてあることを確認してください。
■ ガードなどの安全装置は絶対に取り外さないでください。
■ 作業する場合、刈払機の15m以内に他の人、子供、動物がいないことを確認ください。誰かが近づいてきた場合は、エンジンを停止し、刈刃を止めてください。
■ エンジン始動時および運転時は絶対に刈刃に手や足を近づけないでください。
■ 屋内などの換気の悪い場所では、決して刈払機を運転しないでください。排気ガスにより、ガス中毒をおこします。
■ 排気ガスを直接吸わないでください。

⚠ 警　告

- 決して刈払機を勝手に改造しないでください。
- 疲労、病気、酒気帯びの場合、または医薬品服用中の場合は作業をおこなわないでください。また、作業中に体調が悪くなった場合にはすぐにエンジンを止め、作業を中止してください。



- 夜間および天候の悪いときは使用しないでください。
- 風、雨、大雪、濃霧などの悪天候のとき、または落石やなだれの恐れのある場所では、使用しないでください。
- 作業は早朝や夕方にはおこなわず、視界のよい日中におこなってください。
- 36ページに指定した刈刃以外は使用しないでください。
- 刃物を装着する際は必要な部品をすべて組み込んでください。必要な部品を組み込まない場合には刈刃が抜け落ち、運転者や付近の人に飛んで大ケガになる危険性があります。
- 作業前に作業場所をきれいにしてください。石、ビン、カン、ワイヤーなどが飛散し大ケガをするおそれがあります。
- 刈払機の作業時間は１日２時間以内にとどめ、一連続作業時間は、おおむね30分以内とし、一連続作業時間の後、５分以上の休止時間を設けてください。振動障害をおこすおそれがあります。
- 正しく目立てされた刈刃を使用してください。
- 混合ガソリンを使用しますので、刈払機のそばで喫煙やたき火をしないでください。火災発生のおそれがあります。
- 作業前に燃料漏れがないか確認をおこなってください。漏れがあった場合はただちに修理してください。
- マフラーやマフラーから出る排気は非常に高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。
- 作業前に刈払機の点検をおこなってください。この時、破損した部品は交換し、ネジの脱落やゆるみのないことを確認してください。

■ 規格に合った保安帽を正しく着用してください。落下物や飛散物によりケガをするおそれがあります。

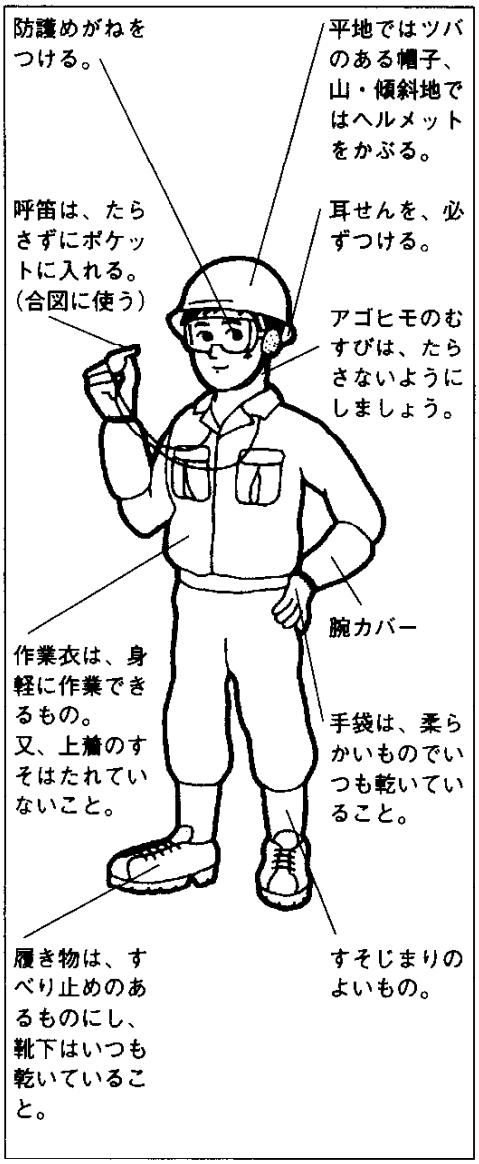
■ 必ず保護メガネをつけてください。

■ 必ず耳栓を付けてください。聴覚障害をおこすおそれがあります。

■ 刈払機を取り扱うときには、厚手で滑り止めのついた防振性のある手袋を着用して手を保護してください。

■ 裾のひらひらした服、アクセサリー類、ショートパンツ、サンダルなどを着用しないでください。頭髪は肩から下に垂れ下がらないように覆ってください。枝や機械の可動部にからまる危険性があります。

■ 靴は底に滑り止めのついた安全靴を使用してください。雨の日は、滑りやすいので作業をさけてください。



⚠ 注　意

■ 刈刃を装着する際は必ず手袋をしてください。刈刃は鋭い刃がついています。素手でさわるとケガをします。

1－2　キックバック

⚠ 危　険



■ キックバックは刈刃が硬い物に接触した場合におこる可能性があります。刃物が硬い物に当たった反動により、本体および運転者が激しく押し返されます。この反動をキックバックと言います。結果として運転者は刈払機をコントロールできなくなり、重大な事故につながる場合があります。切断状態がよく見えない時は注意が必要です。

■ 刈刃は目立てしたよく切れる刈刃を使用してください。キックバックの発生が少なくなります。

1－3　給油

⚠ 警　告

■ ガソリンと２サイクル専用オイルの混合および給油は、屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。給油はエンジンを停止し、エンジンが冷えた後にゆっくりと燃料キャップを外して行ってください。急に燃料キャップを外すと燃料が吹き出すことがあります。

■ こぼれた燃料は本体から拭き取ってください。また、各部からの燃料漏れがないか確認を行い、漏れていたら必ず修理し、漏れのないことを再確認してください。

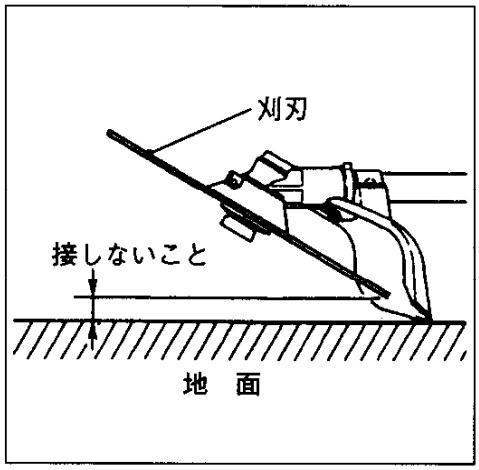
■ 燃料の持ち運びや保管など、取扱いには十分注意してください。

1－4　始動

⚠ 危　険

■ エンジンを始動する場合は、刈刃が地面や他の物体に接していないことを確認してください。エンジンが始動するとすぐに刈刃が回転することがあります。

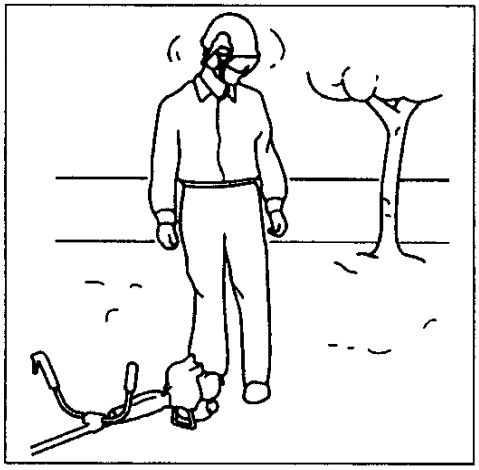
■ エンジンを始動する場合は、スロットルを開かないでください。エンジンが始動するとすぐに刈刃が回転します。



⚠ 警　告

■ エンジンの始動は取扱説明書に従い、安定の良い平らな場所で行ってください。

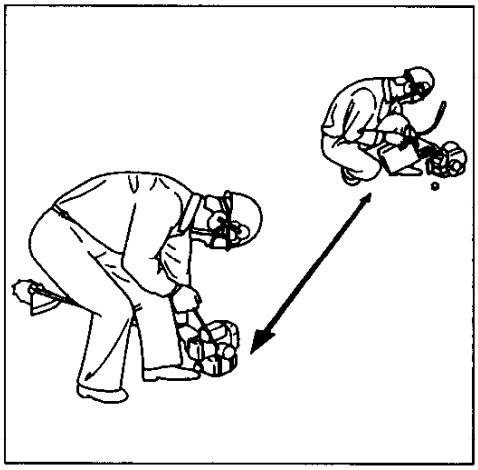
■ 始動時は周囲の安全を確認し、一人（補助者なし）でおこなってください。



■ エンジンがアイドリング時、刈刃が回転しないことを確認してください。アイドリング時、刈刃が回転すると危険です。回転する場合はアイドリング調整をして回転速度を下げてください。

■ 漏れた燃料への引火防止のためエンジンの始動は、給油場所や燃えやすい物から３ｍ以上離れた場所でおこなってください。

■ リコイルスタータを引いた後、しばらくしてからエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押えておいてください。

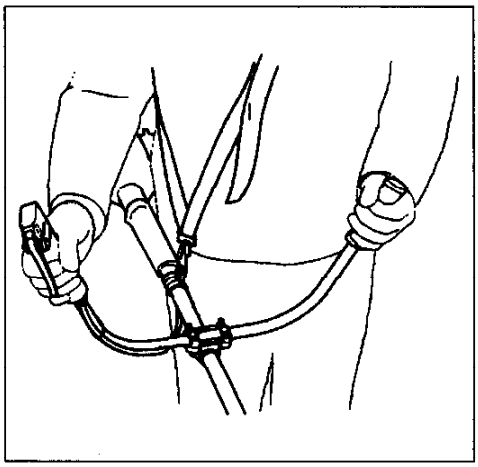


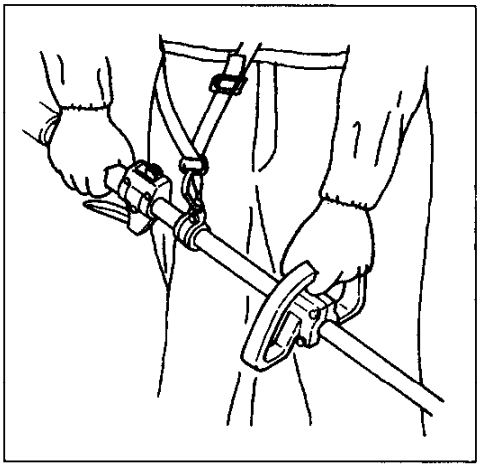
1－5　作業

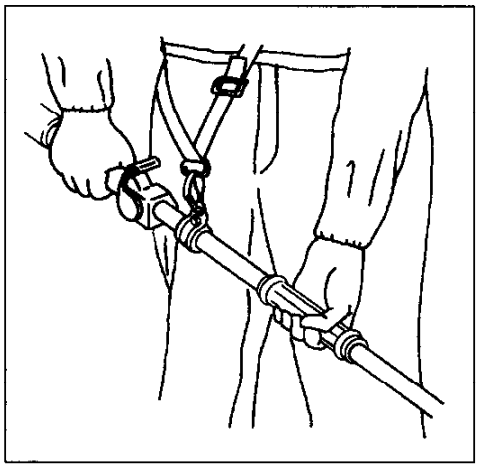
⚠ 警　告

■ 刈払機を操作するときは左右ハンドルまたは前後グリップを両手でしっかりと握ってください。その他の部分を持たないでください。

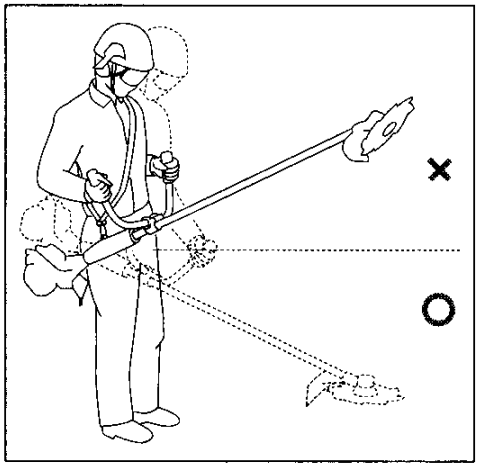
■ 必ず肩掛けバンド（ストラップ）を使用してください。







■ 刈刃を腰の高さ以上に上げないでください。



■ しっかりした足場の上で安定した姿勢で作業をおこなってください。

■ 作業は原則として一人でおこなってください。数人で作業する場合は15m以上の間隔をあけて作業してください。

■ 刈払機を使用している人に近づくときはお互いに合図をおこない、エンジンを停止し、停止を確認した後に前から近づいてください。

■ 刈刃にものがはさまったり、からまった場合はエンジンのスイッチを切り、刈刃が停止した後に、取り除いてください。
■ 刈払機を落としたり、作業中に木にぶつけたり、何か異物に当てたときは、エンジンを止めて損傷の有無を調べてください。もし損傷があれば使用せず、すみやかに修理してください。
■ この取扱説明書の作業方法にしたがって刈払作業をおこなってください。
■ 燃料キャップは休憩時に増し締めしてください。運転中に振動でゆるんでいる可能性があります。
■ 燃料が漏れた場合は、ただちにエンジンを停止して、火気を近づけないでください。

⚠ 注　意

■ 運転中または停止直後に高温部（マフラー、シリンダーなど）に触れないでください。ヤケドをします。
■ 運転中は高電圧部（プラグキャップ、プラグコートなど）に触れないでください。感電するおそれがあります。

1－6　停止

⚠ 警　告

■ エンジン停止後、あるいはスロットルレバーを戻した後も、刈刃はしばらく回転し危険です。スイッチを切ったときには、刈刃が停止するのを待って、停止を確認した後に刈払機を地面に置いてください。

1－7　点検・整備

⚠ 危　険

■ 点検・整備（刈刃交換、掃除など）を行うときは必ずエンジンを停止し、刈刃が停止していることを確認してからおこなってください。
■ リコイルスターターを分解しないでください。部品が飛びだしケガをするおそれがあります。

⚠ 警　告

- ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のない所でおこなってください。
- 燃料キャップ、燃料タンク、燃料パイプおよびキャブレターなどから燃料漏れがないか定期的に確認してください。
- 整備と修理を行うときは新ダイワ純正部品を使用してください。他社の部品を使用すると重大な事故になる危険性があります。
- 取扱説明書に記述がない整備や修理は行わないでください。記述のない整備や修理はお求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼してください。

⚠ 注　意

- 点検・整備・掃除などはエンジンが冷えてからおこなってください。ヤケドのおそれがあります。

1－8　移動・保管

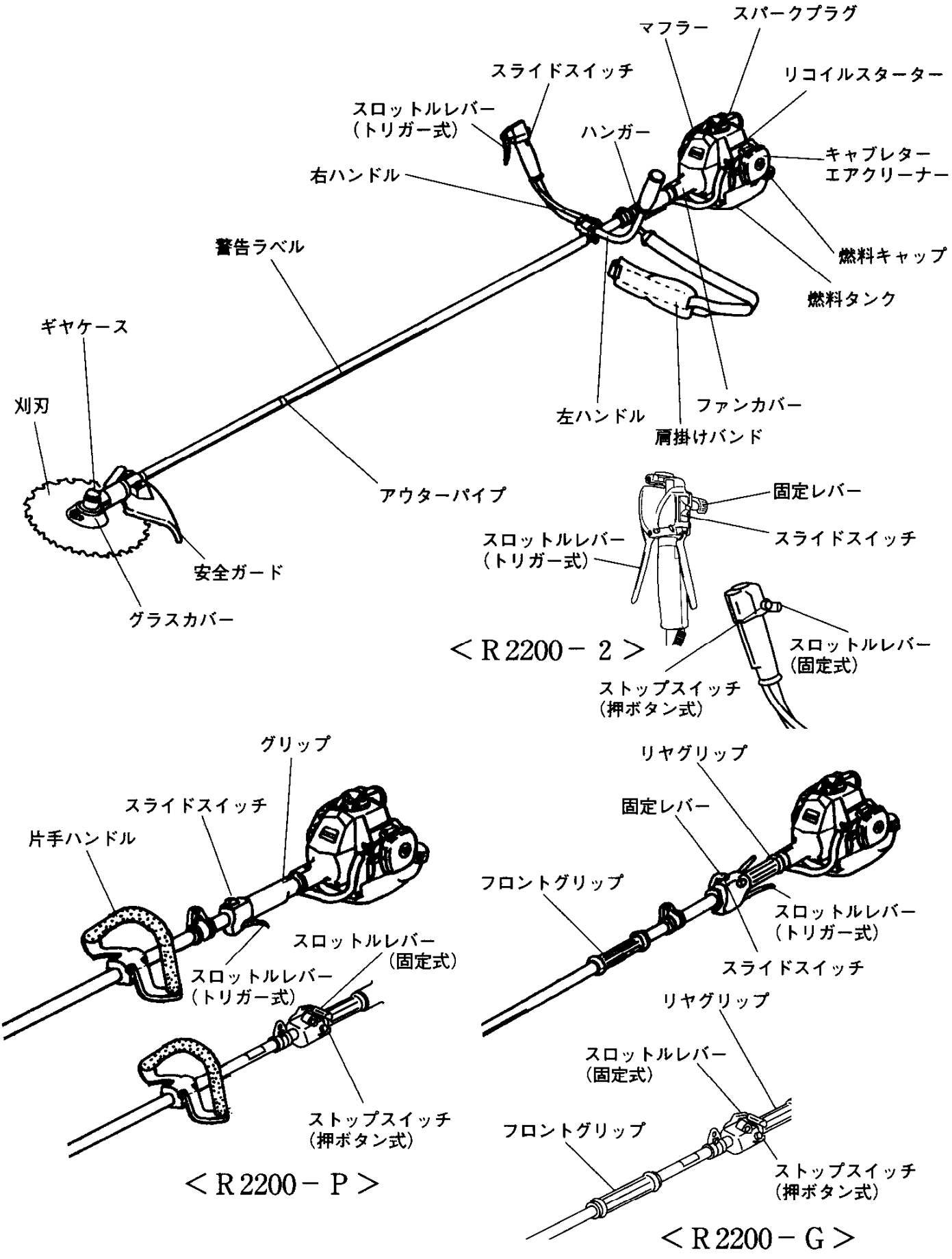
⚠ 警　告

- 移動時あるいは保管時にはエンジンを停止してください。また、刈刃にカバーをしてください。

⚠ 注　意

- 保管の際は、燃料漏れ、破損、ケガなどを防止するために、刈払機を転倒しないように安定した場所に置いてください。
- 年少者（子供）の手が届かない乾燥した冷暗所に保管してください。
- ２～３日以上保管する場合は燃料タンク内およびキャブレター内の燃料を空にしてください。

2．各部名称


スパークプラグ
マフラー
スライドスイッチ
リコイルスターター
スロットルレバー
（トリガー式）
ハンガー
キャブレター
エアクリーナー
右ハンドル
警告ラベル
燃料キャップ
燃料タンク
ギヤケース
刈刃
左ハンドル
ファンカバー
肩掛けバンド
アウターパイプ
固定レバー
スロットルレバー
（トリガー式）
スライドスイッチ
安全ガード
グラスカバー
スロットルレバー
（固定式）
ストップスイッチ
（押ボタン式）
＜R2200－2＞
グリップ
スライドスイッチ
片手ハンドル
スロットルレバー
（固定式）
スロットルレバー
（トリガー式）
ストップスイッチ
（押ボタン式）
＜R2200－P＞
リヤグリップ
固定レバー
フロントグリップ
スロットルレバー
（トリガー式）
スライドスイッチ
リヤグリップ
スロットルレバー
（固定式）
フロントグリップ
ストップスイッチ
（押ボタン式）
＜R2200－G＞

No.	名　　称	機　　能
1	刈刃	刃のついた金属製円盤です。雑草を切断します。
2	安全ガード	飛散物から運転者を守ります。
3	ギヤケース	エンジン回転を減速するギヤのケースです。
4	アウターパイプ	エンジンの回転力を刈刃に伝える伝動軸が通っており、刈刃を操作するためのさおとなります。
5	号機ラベル	製品の型式名および号機番号を示します。
6	警告ラベル	警告指示事項を示します。
7	ハンガー	刈払機を肩掛けバンド（ストラップ）につるすつり具です。
8	肩掛けバンド	刈払機を肩からつり下げるために使用するバンドです。
9	スロットルレバー	エンジンの回転をコントロールします。
10	スパークプラグ	混合気に点火するための部品です。
11	マフラー	排気音を減少させます。
12	リコイルスターター	ロープを引いてエンジンを始動します。
13	燃料キャップ	燃料タンクのふたです。
14	エアクリーナー	エンジンに吸入する空気のゴミを取り除きます。
15	キャブレター	燃料と空気を混合します。
16	チョーク	冷えているエンジンを始動しやすくします。
17	ストップスイッチ (スライドスイッチ)	ボタンを押すとエンジンが停止します。 (運転、停止位置に固定できるスイッチです。)
18	燃料タンク	燃料を入れる容器です。

3．組立の手順

3－1　外観と付属部品のチェック

この製品は工場出荷の際、厳重な検査を行っておりますが、念のためにこの製品の損傷ボルト、ナット類のゆるみなどがないか点検してください。また、付属部品の欠品がないか点検してください。
もし、点検の結果、異常や欠品があった場合はただちにお求めの販売店か弊社営業所へご連絡ください。

付属部品
ストラップ、安全ガード（機械に仮止めしてあります。）
刈刃用ポリバッグ、プラグレンチ、六角レンチ、チップソー（φ230）
刈刃カバー、ゴーグル、取扱説明書（保証書つき）

⚠ 注　意

■ **ボルトは必ず付属の六角レンチを使用し、手でしめつけてください。**

3－2　ハンドルの取り付け

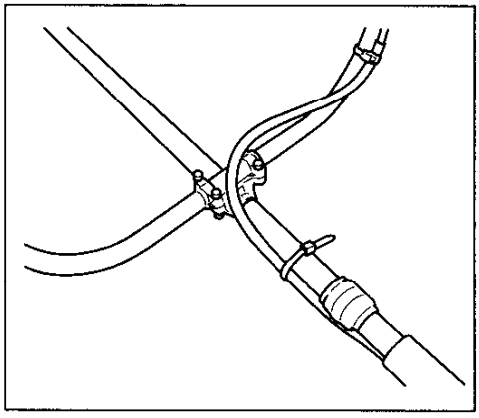
⚠ 警　告

■ **ハンドルは必ず取り付けて使用してください。ハンドルを取り付けずに使用すると重大な事故の原因となります。**

3－2－1　両手ハンドル仕様（－S2AY、－S2BY、－S2AWY）

①アッパキャップ取付用ボルト4本をゆるめ、アッパキャップを取り外してください。

②スロットルケーブルがアッパキャップの上を通るようにスロットルレバーの取り付けてあるハンドルを作業状態で右側にくるよう取り付けてください。（ハンドルの突起とブラケット側の溝を合わせてください。）
同様にして左側のハンドルも取り付けてください。

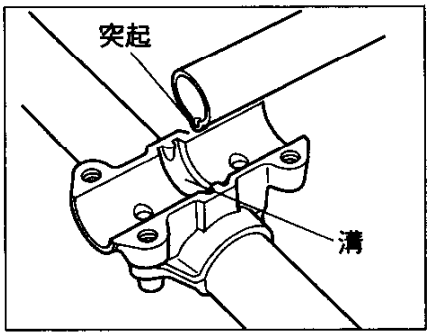


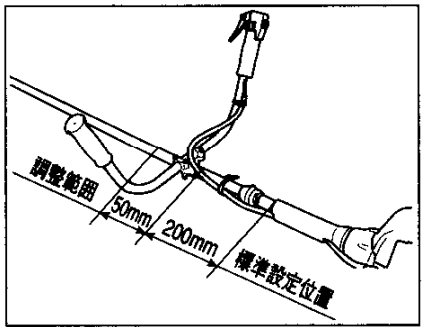
⚠ 注　意

■ ハンドルの突起とブラケット側の溝を合せないでボルトを締付けるとブラケットが破損するおそれがあります。

③ハンドルを使いやすい角度にして、ボルト４本を確実に締め付けてください。

④ブラケットの下のボルト２本をゆるめ、ハンドルを使いやすい位置に変えることができます。
ハンドル位置を変える場合は、標準設定位置から50mmの調節範囲で行ってください。





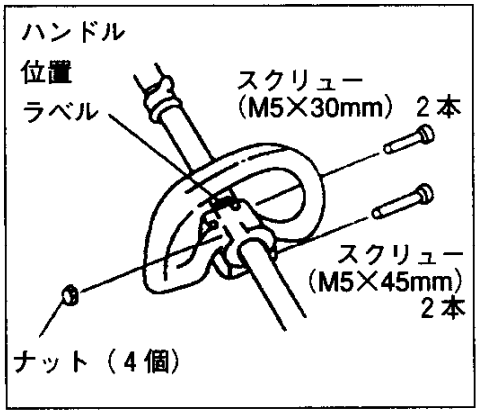
⚠ 危　険

■ ハンドル位置は調整範囲内で使用してください。調整範囲を超えるとスロットルケーブルが引っ張られ、始動時に刈刃が急にまわりだすおそれがあり危険です。

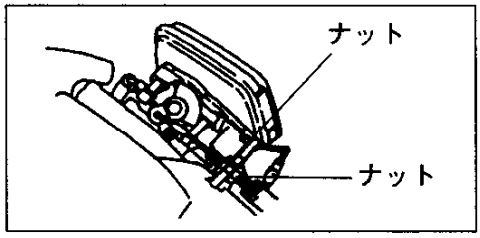
３－２－２　片手ハンドル仕様

①ハンドルを固定している４つのスクリューをゆるめ、ハンドル取付けラベルの位置に合わせます。その位置で使いにくい場合は、使い易い位置にずらしてください。

②エンジン本体およびギヤケース(刈刃)に対し水平になるように調整した後、スクリューを確実に締め付けてください。

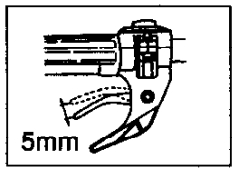


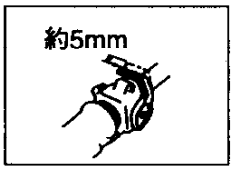
3－3　スロットルレバーの遊び調整



①スロットルレバーを軽く引いて、遊びが5mm程度あれば適正です。必要で応じて下記の要領で調整してください。

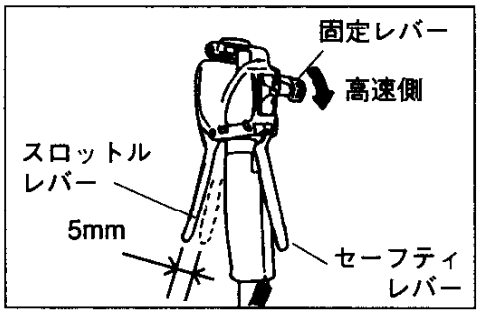
3－3－1　トリガーレバー仕様





①スロットルケーブルのナットをゆるめ、スロットルレバー先端の遊びが約5mmになるようケーブルのナットで調整し、固定してください。

3－3－2　ツインスロットルレバー仕様

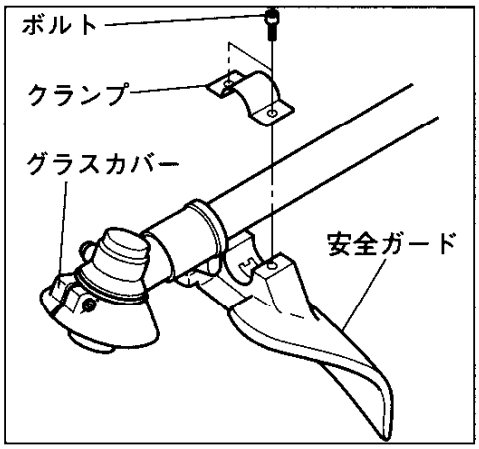


①セーフティレバーを握り、固定レバーを高速側にして、スロットルレバー先端の遊びが約5mmになるようにケーブルのナットで調整してください。

3－4　安全ガードの取り付け

⚠ 警　告

■　安全ガードは必ず取り付けて使用してください。安全ガードを取り外したり、正しい位置に取り付けないで作業すると飛散物により、重大な事故になる危険性があります。



①出荷時に安全ガードは正しい位置に取り付けられていませんので、安全ガードを正しい位置に変更してください。
②はじめに安全ガードを固定しているボルト2本をゆるめます。
③安全ガードを回転させギヤケースと水平にした後、ギヤケースをガードではさむように位置をずらしボルトを確実に締め付けてください。

注　記

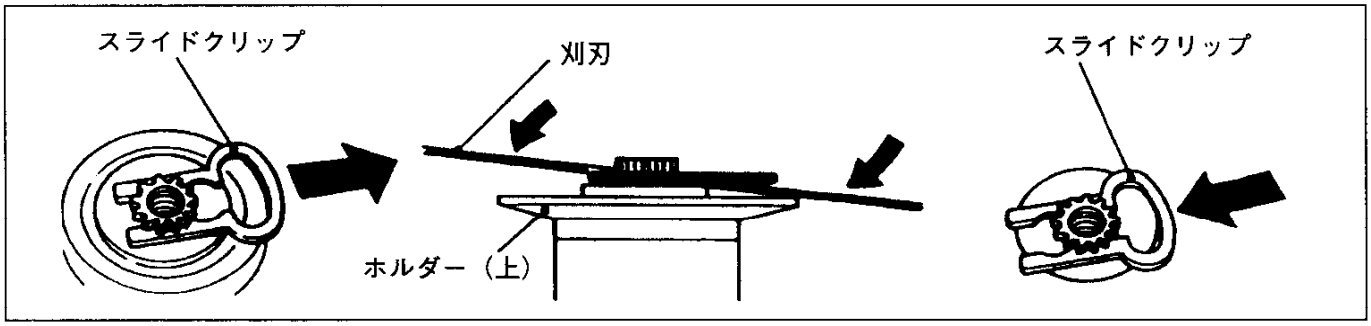
■　安全ガードに「ガタ」がないか確認してください。

3－5　刈刃の取り付け

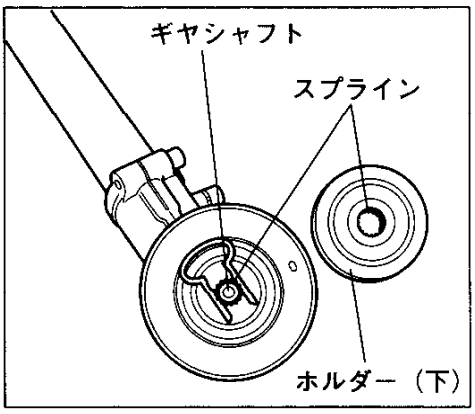
⚠ 警　告

- **エンジンが停止していることを確認してください。**
- **刈刃の回転方向と、刈刃の矢印の方向を合わせて取り付けてください。**

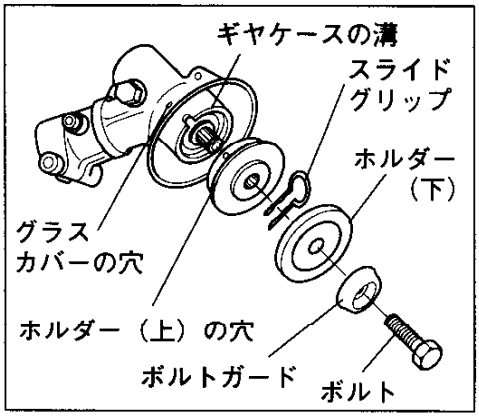
①刈刃の回転方向はギヤケース側から刈刃を見て反時計回りです。
②刈刃固定用ボルト（左ネジ）を付属のプラグレンチで時計方向へ回し、ボルト、ボルトガード、ホルダー（下）を取り外してください。
③スライドクリップを横にずらし（軸から外さない）、刈刃を少し斜めにして、スライドクリップとホルダー（上）の間に差し入れてください。
④スライドクリップを元に戻してください。

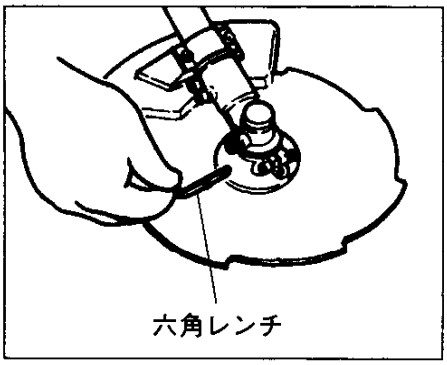


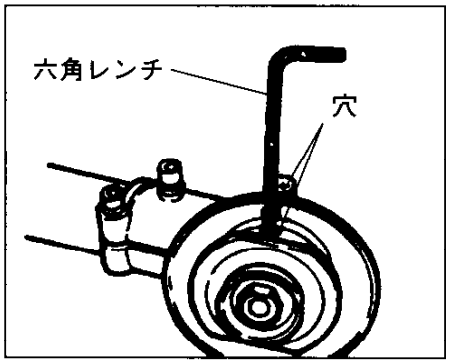
⑤ホルダー（下）をギヤシャフトのスプライン溝に合わせながら、刈刃に確実に密着するように取り付けてボルトガード、刈刃固定用ボルトを手でしめてください。

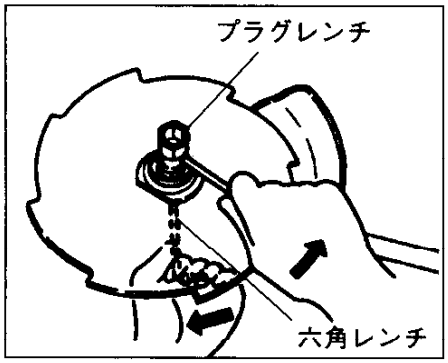


⑥ホルダー（上）、ホルダー（下）を手でゆっくり回しグラスカバーの穴、ホルダー（上）の穴、そしてギヤケースの溝を合わせて、六角レンチ（M５用）を差し込み、ホルダー（上）が回らないことを確認してください。ホルダー（上）が回る場合はギヤケースの穴に六角レンチが入っていないためで、ホルダー（上）を回しながら穴位置を合わせてください。









⑦六角レンチを左手でしっかりと押さえながら、刈刃固定用ボルトをプラグレンチで反時計方向に回し、確実に刈刃をしめつけてください。

⑧刈刃の取り付け後、必ず刈刃が確実に取り付けられていることを確認してください。

⚠ 危　険

■ 取り付けが傾いていたり、締め付けが不十分な場合、運転中に刈刃が外れて飛散し、重大な事故の原因となります。

⑨軽く手で刈刃を回し、異常な振動または刈刃のぶれがないか確認してください。刈刃にぶれがある場合刈刃の穴がホルダー（上）にきちんと入っていないので、刈刃固定用ボルトをゆるめてやり直してください。

4．エンジンの始動と停止

4－1　燃料の補給

⚠ 警　告

■ **給油は屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。**
■ **平らな場所で給油してください。**

4－1－1　燃料

燃料は必ず、無鉛ガソリン25に対して2サイクル専用オイル1の割合で混合した混合燃料を使用してください。(「新ダイワ純正2サイクルエンジンオイル50：1」の場合は50：1）燃料の混合は安全容器に2サイクル専用オイルを先に入れ、後からガソリンを加えてください。

ガソリン（L）	2サイクル専用オイル（ml）	
	25：1	50：1
1	40	20
4	160	80
8	320	160

⚠ 注　意

■ **正しい混合比の燃料を使わないと、適正な性能が出なかったり、エンジンの焼き付きの原因となります。**

4－1－2　給油

⚠ 警　告

■ **燃料の補給はエンジンを停止して、エンジンが冷えてから行なってください。**

⚠ 注　意

■ **異物やゴミをタンク内に入れないために、キャップを外す前に燃料キャップやそのまわりをよく掃除してください。**
■ **常に新しい燃料を使用してください。2～3か月以上保存したり、異物が混入した燃料を使用すると故障の原因となります。**
■ **燃料タンクに直接燃料を入れて混合することは絶対にしないでください。焼き付きや故障の原因になります。**

①給油する前に燃料をよく混合してください。
②燃料タンクの燃料キャップはゆっくりと外し、燃料を補給してください。
③給油後は確実にキャップを締め、燃料タンクから燃料漏れのないことを確認してください。

4－2　エンジンの始動

Softスタートは軽く引けるスターターです。リコイルスターターを軽く引いてもスプリングの作用で、エンジンを簡単に始動することができます。

⚠ 危　険

- **エンジンを始動するとき、刈刃が地面や他の物体に接触していないことを確認してください。また、そばに他の人がいないことを確認してください。始動後すぐに刈刃が回転し危険です**
- **エンジンを始動する場合は、スロットルを開かないでください。エンジンが始動するとすぐに刈刃が回転します。**

⚠ 警　告

- **リコイルスターターを引いた後、しばらくしてからエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押えておいてください。**

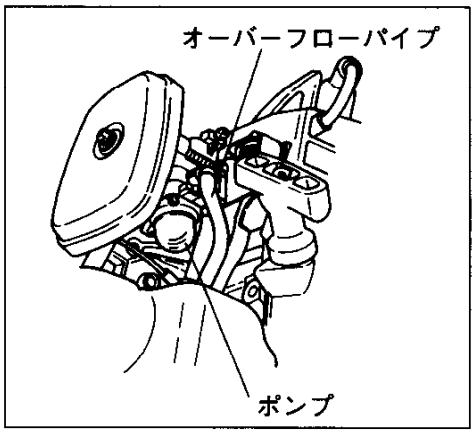
⚠ 注　意

- **始動時にリコイルスターターのロープを最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。**
- **リコイルスターターのロープを急に離さないでください。正しく巻き込まれないことがあります。**

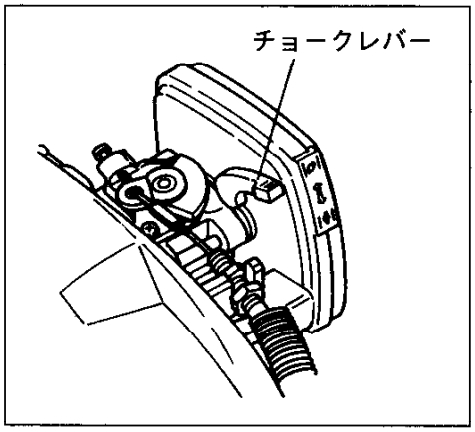
4－2－1　エンジンが冷えている時、または燃料切れで燃料を補給した時

①スライドスイッチの場合「運転・ＯＮ」にしてください。（Ｒ2200－２は「ＳＴＯＰ」の反対側、Ｒ2200－Ｐは「Ｉ」マークが運転位置です。）

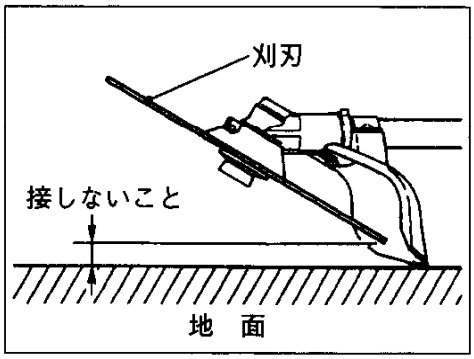
②キャブレター下部のポンプを数回押し、オーバーフローパイプから燃料が流れ出ることを確認します。（この時、燃料の泡が無くなるまでポンプを押してください。）



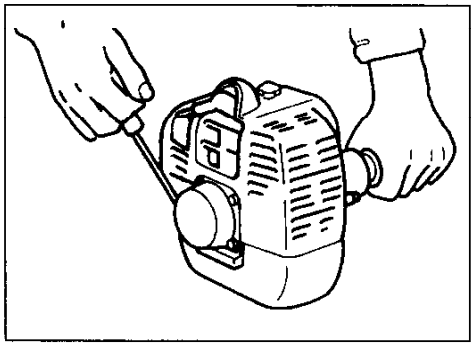
③チョークレバーをチョーク|◢|の方向に押し上げてください。



④刈刃が安全ガードにより地面から離れているのを確認してください。



⑤この刈払機を足場のしっかりした平地に置き、図のように左手でエンジンを押さえて、リコイルスターターを引いてください。爆発音がしてすぐに停止した場合はチョークレバーを戻して再度リコイルスターターを引いて始動してください。



注　記

■ **チョークレバーを上げて始動するとき、爆発音がしたら、必ずチョークレバーを戻して再始動して下さい。チョークレバーを戻さないと燃料の吸い込みすぎになり、始動ができなくなります。**

⑥エンジンが始動したら、チョークレバーを戻してください。チョークレバーを戻す前に停止した場合は、チョークレバーを戻して再始動してください。
⑦始動したら、２～３分間アイドリング状態で暖機運転してください。

４－２－２　エンジンが暖まっている時
①－④－⑤－⑦の順序で始動してください

４－３　始動困難なとき

エンジンが暖まっている状態で始動しないときは、エンジンが冷えている場合と同じ方法で始動してみてください。それでも始動しない場合、またはエンジンが冷えた状態で始動しない場合は次の操作をおこなってください。

①スパークプラグをプラグレンチで外し、スパークプラグの電極部が濡れているかどうか調べてください。
②スパークプラグが濡れている場合はスパークプラグについた燃料をふき取り乾燥させてください。スパークプラグを抜き取った状態でリコイルスターターを数回引き、数回空転させて燃料をシリンダ内から追い出してください。

⚠ 警　告

■ **火気を近づけないでください。火災の原因となります。**

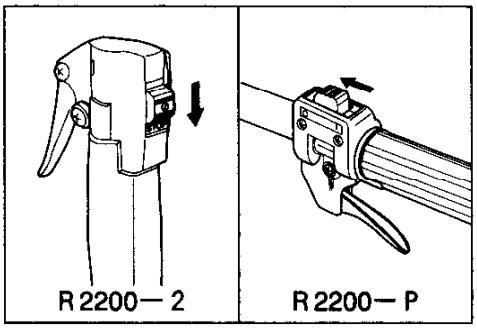
③スパークプラグを付属のプラグレンチで確実に取り付け、プラグキャップをつなぎます。エンジンが暖まっている場合の方法で始動してください。
④スパークプラグが濡れていない場合は燃料タンクから燃料が届いていないので、燃料フィルターやキャブレターを点検する必要があります。６－５項の点検をするか、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

4－4　停止

4－4－1　トリガ式スロットルレバーにスライドスイッチがついた製品

①スロットルレバーから手を離してエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。

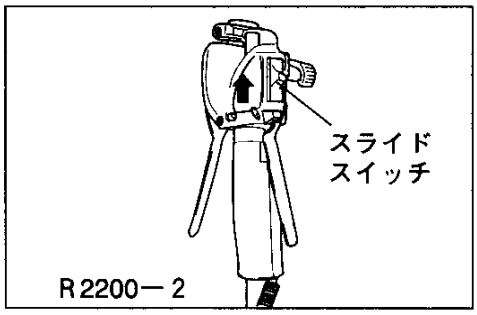
②スロットルレバー上のスライドスイッチを右図のように「停止・ＯＦＦ」側へ倒してください。（Ｒ2200－２は「ＳＴＯＰ」、Ｒ2200－Ｐは「Ｏ」のマークが停止位置です。）

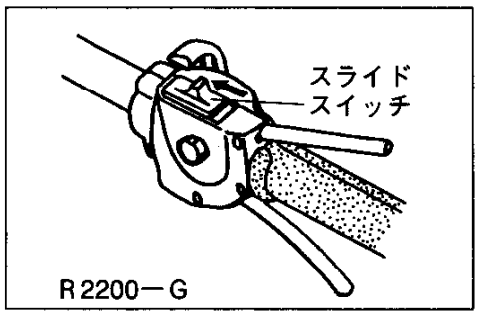


4－4－2　ツインスロットルレバーにスライドスイッチがついた製品

①スロットルレバーから手を離してエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。

②スロットルレバー上のスライドスイッチを右図のように「停止・ＯＦＦ」側へ倒してください。

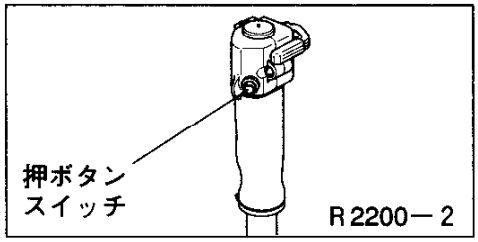


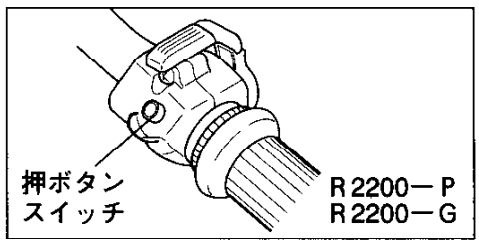


4－4－3　固定式スロットルレバーに押しボタン式停止スイッチがついた製品

①スロットルレバーを元の位置に戻してエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。

②押しボタンスイッチを押してください。





⚠ 注　意

停止持続スイッチについて

- **押しボタン式停止スイッチが付いた製品には、確実にエンジンを停止させるため、停止持続ユニットが付いておりますので、押しボタンを押し続けなくてもエンジンは停止します。**
- **再始動する場合はエンジンが停止した状態から約５秒後にリコイルを引いて始動してください。**
  (停止持続ユニットは押しボタン停止スイッチを押した状態から約５秒間はエンジン停止状態を維持するようになっております。)

５．刈払作業

⚠ 警　告

- **作業時は必ず肩掛けバンドを使用してください。**
- **刈払機を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽を着用してください。**

５－１　肩掛けバンドの掛け方

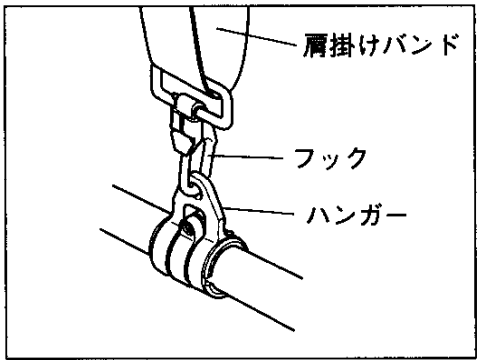
①肩掛けバンドを頭から通し、フックが身体の右側にくるように掛けてください。



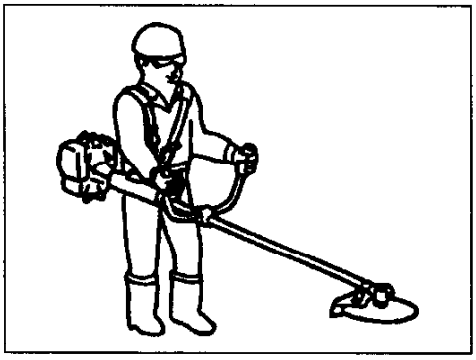
②アウターパイプに取り付けてあるハンガーの穴に肩掛けバンドのフックを取り付けてください。

③刈刃が地上から数センチの高さになるように、肩掛けバンドとハンガーの位置を調整してください。

■ハンガーはパイプ上を上下でき、バランスがよいところを見つけてください。ハンガーを動かして刈刃と安全ガードが決められた高さになるように調整してください。



④バランスと高さの調整にはハンガーの位置と肩掛けバンドの再調整が必要です。刈刃と安全ガードを取り付けた状態でバランスを調整してください。



重　要

■ 作業者の身体の大きさがバランス調整に影響します。したがって、機種や人によってはバランスがとれないことがあります。バランス調整ができないときは、販売店で指示を受けてください。

⚠ 危険・警告

■ この刈払機はさまざまな身体のサイズに合うように設計されていますが、極端に背の高い人には合わないことがあります。
■ 作業者が機械を肩掛けバンドにつり下げたとき、刈刃に足がとどく場合は使用しないこと。

5－2　操作の方法

⚠ 警　告

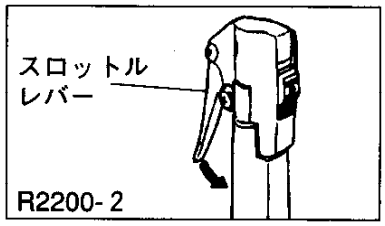
■ 作業中は半径15m以内に他の人を近づけないように注意してください。切りくずや破片などが飛散し大ケガをする恐れがあります。

⚠ 注　意

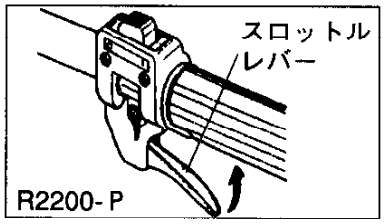
- **雑草を切らない状態でスロットルレバーをいっぱいに引かないでください。エンジンは空ぶかし（無負荷高速）になり、エンジンやシャフトを破損させる原因となります。**
- **クラッチがつながって刈刃が回転していても、低速にしすぎると共振現象による振動、異音を感じることがあります。この状態で作業をおこなうと、クラッチの摩耗が早くなります。また、草なども巻き付きやすいので、回転を上げてクラッチの共振がない回転速度で使用してください。**

5－2－1　トリガ式スロットルレバーのついた製品

①エンジン始動後、スロットルレバーを握るとエンジンの回転速度が上がり、刈刃が回り始めます。作業に適した回転速度が得られるように握りを加減して合わせてください。



②スロットルレバーから手を離すとエンジンの回転速度が下がり、アイドリング回転速度に戻ります。



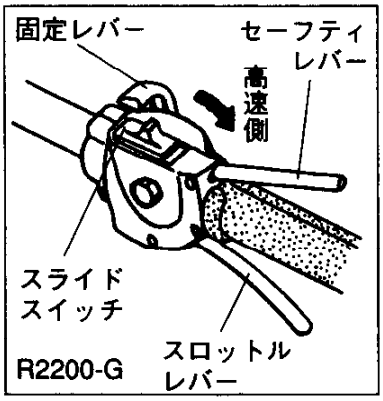
5－2－2　ツインスロットルレバーのついた製品

①エンジン始動後、セーフティレバーとスロットルレバーを握りながら固定レバーを徐々に高速側へ移動させるとエンジンの回転速度が上がり、刈刃が回り始めます。作業に適した回転速度が得られる位置に合わせてください。

②スロットルレバーから手を離すとエンジンの回転速度が下がり、アイドリング回転速度に戻ります。



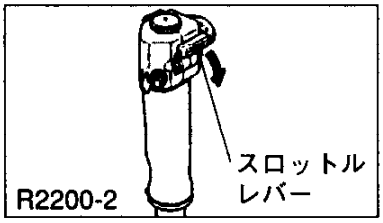
③再びスロットルレバーとセーフティレバーを握ると、固定レバーで設定した回転速度まで上がり、作業ができます。

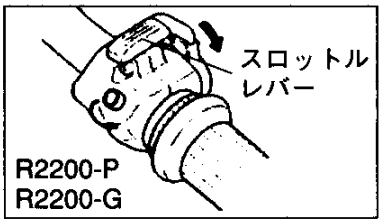


5－2－3　固定式スロットルレバーのついた製品

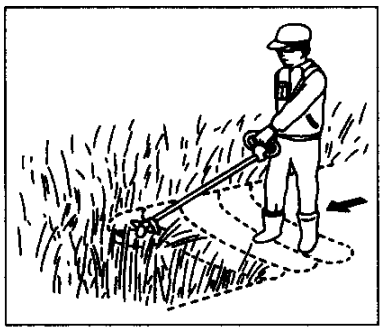
①エンジン始動後、親指でスロットルレバーを手前に移動させるとエンジンの回転速度が上がり、刈刃が回り始めます。作業に適した回転速度が得られる位置に合わせてください。

②スロットルレバーを戻すとエンジンの回転速度が下がり、アイドリング回転速度に戻ります。





刈刃は反時計方向に回りますので、右側から左側に寄せるように刈ると能率的です。刈り取った草は左側に寄せられるので広い面積を刈るときには左側から前進すると刈り取った草が次の列を刈るときにじゃまにならず、能率的に作業ができます。



⚠ 注　意

炎天下での作業後、再始動しにくいときは、次のようにしてください。

■ 休息時や燃料補給時は、刈払機を炎天下（直接日のあたるところ）に置かずに日陰で風通しのよいところに置いてください。炎天下に置くと燃料タンク内のガソリンが熱くなり、エンジンが始動しにくくなります。

■ 休息後エンジンが始動しにくいときは、15分ぐらい日陰で風通しのよいところに置いてから始動してください。
キャブレターの下部のポンプを押して、ガソリンをキャブレターに入れてください。何回も繰り返すとさらに始動しやすくなります。

6．点検・整備

⚠ 警　告

■ 点検、整備は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてからおこなってください。

■ ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のないところで行ってください。

■ リコイルスターターを分解しないでください。部品が飛びだしてケガをするおそれがあります。

点検・整備表

項　目		始動前	毎　月	その他
スクリュー、ナット	点検、増締	○		
燃料キャップ、燃料タンク 燃料パイプ	漏れ点検	○		
エアクリーナー	掃除	○		
キャブレター	調整			
スパークプラグ	点検、掃除		○	必要な場合
	交換			100時間ごと
マフラー	掃除		○	
シリンダーフィン	掃除		○	
燃料フィルター	掃除		○	
ブリーザー	掃除		○	
	交換			2年ごと
ギヤケース	グリース補給			50時間ごと

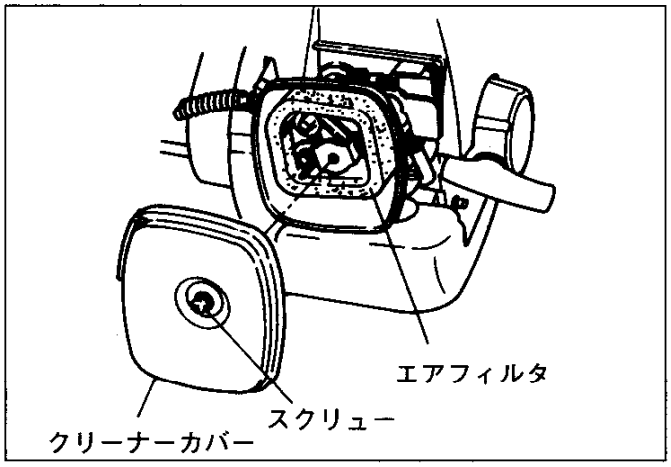
6－1　エアクリーナーの掃除

エアフィルターにゴミが詰まるとエンジンの回転が落ち、作業の効率が悪くなります。

注　記

■ **傷が付いたフィルターやフィルターを取り外したままでは絶対にエンジンを運転しないでください。ホコリやゴミなどによりエンジンが故障します。**

①クリーナーカバーのスクリューをゆるめてクリーナーカバーを外してください。
②エアフィルターを取り出してください。
③エアフィルターをガソリンでよく洗い、乾かしてから取り付けてください。傷ついたフィルターは新品と交換してください。
④クリーナーカバーを取り付けてください。



6－2　キャブレターの調整

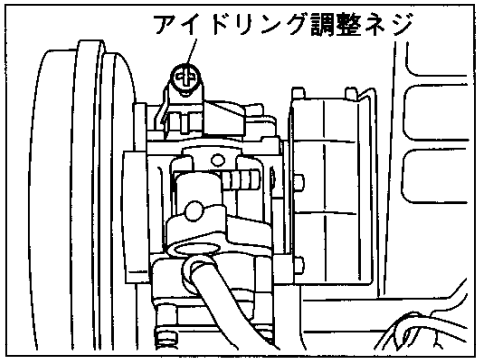
キャブレターは工場出荷時に調整してありますので、調整の必要はありません。気圧、気候、燃料の違い、10時間以上の使用による状態変化などにより、調整が必要になったときにのみ行ってください。
エンジンを始動し、２～３分間の暖機運転の後、次の手順で調整してください。また、エアクリーナーが汚れている場合は掃除してから行ってください。

⚠ 危　険

■ **刈刃の周辺に人または干渉物がないことを確認しておこなってください。アイドリングの回転調整時には刈刃が回転します。**

6－2－1　アイドリングの調整

アイドリング時には刈刃が回転しないようにアイドリング調整ネジでエンジンの回転を下げます。また、エンジンが安定して回転するようにアイドリングを調整してください。



アイドリング調整ネジ
- 時計方向にまわすと→回転が上がる。
- 反時計方向にまわすと→回転が下がる。

⚠ 注　意

■ 無負荷全開運転をするとエンジンの回転が高くなりすぎ、焼き付くおそれがありますので、空ぶかしはしないでください。

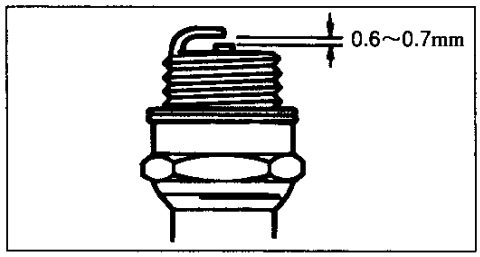
6－3　スパークプラグの点検

⚠ 注　意

■ スパークプラグを外す時は、前もってスパークプラグとシリンダーヘッド部を掃除し、泥や砂などをシリンダー内に入れないようにしてください。
■ スパークプラグを外す時は、必ずエンジンが冷えてから行なってください。シリンダーのネジ穴をいためます。
■ スパークプラグは正しく取り付けてください。斜めに取り付けるとシリンダーのネジ穴をいためます。

エンジンが始動しにくくなったり、アイドリングが不安定になった場合は、まずスパークプラグを点検してください。

①プラグキャップを外し、スパークプラグを付属のプラグレンチで外してください。
②ワイヤブラシでスパークプラグの汚れを落としてください。必要なら電極のすきま調整をしてください。正しいすきまは0.6mmです。



③スパークプラグを手で締め付けと、その後プラグレンチでしっかりと締め付けます。プラグキャップをしっかりと奥まで取り付けてください。

注　記

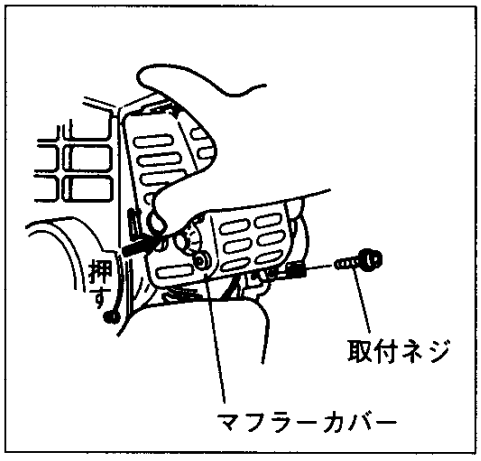
■ **約100時間運転後、または電極の腐食がひどい場合はスパークプラグを交換してください。**
■ **スパークプラグはチャンピオン製CJ8をご使用ください。**

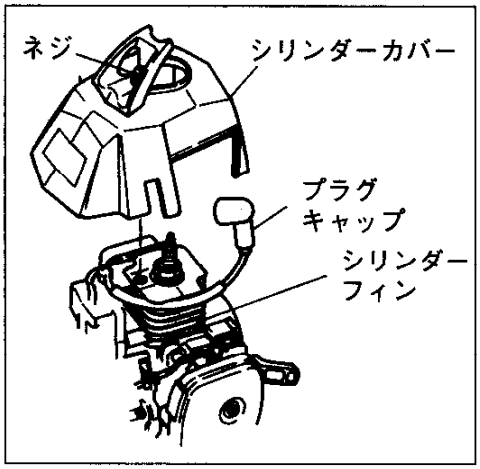
6－4　シリンダーフィンの掃除

⚠ 警　告

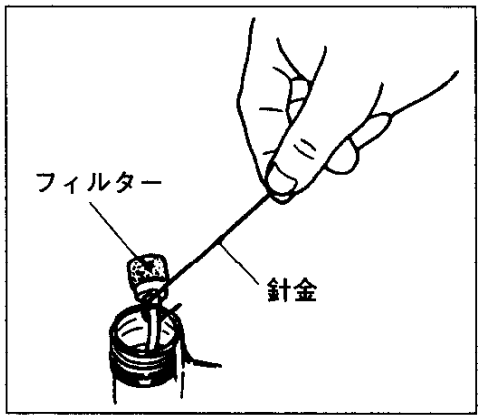
■ **シリンダーフィンの汚れや草のつまりはエンジンの過熱、焼き付きや火災の原因となりますので定期的に点検、清掃してください。**

①マフラーカバーの取り付けネジを外し、マフラーカバーの爪部を手で押しながら、外してください。
②プラグキャップを外し、プロテクター、シリンダーカバーの取り付けネジをゆるめシリンダーカバーを外してください。
③シリンダーフィンやシリンダーカバーなどに付着している草やほこりを取り除いてください。
④清掃後はシリンダーカバーおよびプラグキャップを組み付け、ネジを確実にしめつけてください。(シリンダーカバーを組み付けるときはファンカバーとリコイルケースにきちんとはめてください。)
⑤シリンダーカバーの脱着は付属のプラグレンチのマイナスドライバーが利用できます。



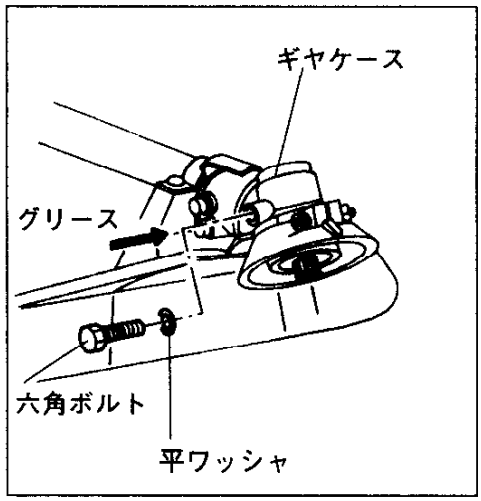


6－5　燃料フィルターの点検



①燃料注入口から針金などで燃料フィルターを引き出してください。
②先端のフィルターが黒く汚れていれば交換してください。
③燃料フィルターを元通りに組み付けてください。
④ゴムパイプが折れないようにして、燃料フィルターを燃料注ぎ口から燃料タンク内に戻してください。このとき、燃料フィルターが燃料タンクの底についていることを確認してください。

6－6　ギヤケースのグリース補給



①「3－5刈刃の取り付け」の逆の手順で刈刃を取り外してから、ギヤケース右側の六角ボルト、平ワッシャを取り外してください。
②六角ボルトを取り外した穴からグリースを補給してください。グリースは新ダイワ純正グリースを使用してください。
③グリース補給後は、六角ボルト、平ワッシャを元通りに取り付けてください。

⚠ 注　意

■　グリースは50時間毎に補給してください。ギヤケースの破損の原因となります。

6－7　刈刃の目立て

⚠ 警　告

- **刈刃にひび割れ、変形、振れなどの異常がある場合は絶対に使用せず、新品と交換してください。**
- **作業時間が長引く場合は、予備の刈刃を用意しておき、切れなくなったら交換してください。**
- **刈刃の目立て（研磨）は専門技術が必要ですので、自分で目立てをしないで販売店に依頼するか、新品の刈刃を使用してください。**

7．長期保管

長期間（約60日以上）に渡って本機を使用しないときは、次の手順に従って保管してください。

①各部を十分に清掃してください。
②点検・整備の項を参考にして点検・整備を行ってください。
③燃料タンク内の燃料を全部排出してください。
④エンジンを始動し、キャブレター内に残った燃料を使い切ってエンジンが停止するまで低速で運転してください。
⑤プラグキャップ、スパークプラグを外し、スパークプラグ穴から少量のオイルをシリンダー内に流し込み、オイルがゆきわたるように２～３回リコイルスターターを引いてください。
⑥スパークプラグ、プラグキャップをもと通りに取り付けてください。
⑦クリーナーカバーを外して、フィルターを掃除してもと通りに取り付けてください。
⑧乾燥した火気のない冷暗所に保管してください。

⚠ 注　意

- **フューエルタンク、フューエルパイプ、キャブレターの中に燃料が残った状態で長期間保管しないでください。燃料が変質します。**

8．故障の診断と処置

8－1　エンジンが始動しない場合

区分	原因	処理	参照ページ
エンジンが回転しない	・リコイルスターター不良	販売店で修理	—
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	—
圧縮が弱い	・スパークプラグの緩み	締め付け、再始動	18･29
	・シリンダ、ピストン、ピストンリングの摩耗	販売店で修理	—
燃料タンクに新しい混合ガソリンが入っていますか	・燃料の変質	新しい混合ガソリンを入れて再始動	18
キャブレターに燃料が来ない	・燃料フィルターの目づまり	燃料フィルターを交換又は掃除	31
	・燃料パイプの破損	販売店で修理	—
スパークプラグが発火しない	・マグネトーの故障	販売店で修理	—
	・スイッチ故障	販売店で修理	—
	・スパークプラグが濡れている	スパークプラグを乾燥させ、リコイルスターターを回しシリンダー内の燃料を排出し、再始動	21
	・スパークプラグにカーボンたい積	掃除し、再始動	18･29
	・スパークプラグの電極すきま不良	0.6～0.7mmに調整	29
	・スパークプラグが損傷または種類が違う	新しいスパークプラグに交換	29

⚠ 警　告

■ リコイルスターターを引いてもエンジンが回転しない場合は、プラグキャップを抜いて、販売店に修理を依頼してください。

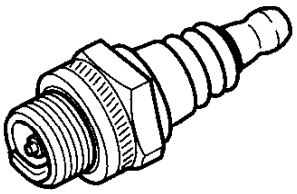
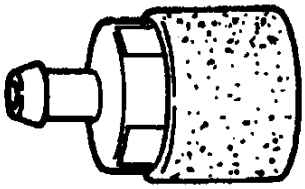
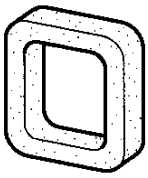
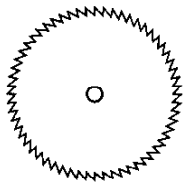
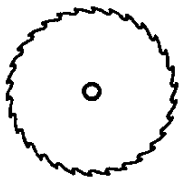
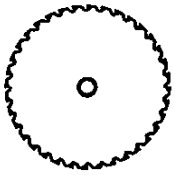
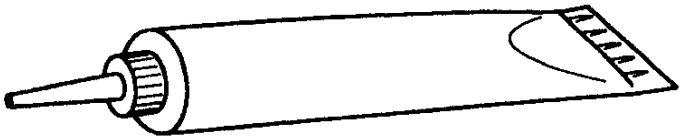
8－2　力がない場合

区分	原因	処理	参照ページ
エンジンの過熱	・過負荷使用	回転を必要以上に上げない	—
	・燃料が薄い（キャブレター調整）	販売店で修理	—
	・燃料混合比不良	正しい混合比の燃料を補給する	18
	・ピストン上、マフラー内にカーボンたい積	販売店で修理	—
エンジンの回転むら	・エアフィルターの目づまり	エアフィルターの掃除	28
	・スパークプラグの締め付けがゆるいまたは不良	締め付けるまたは交換	29
	・燃料フィルター、パイプの詰まりまたはエア混入	掃除または交換	31
	・燃料に水の混入	燃料交換	18
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	—
	・キャブレター不良	販売店で修理	—

8－3　その他の故障

区分	原因	処理	参照ページ
加速不良	・エアフィルター目づまり	掃除または交換	28
	・燃料フィルター目づまり	掃除または交換	31
	・燃料が薄い（キャブレター調整）	販売店で修理	—
	・アイドリング回転速度が低い	3000min^{-1}{rpm} に調整	29
運転中にエンジン停止	・燃料の欠乏	燃料補給	18
	・燃料フィルター目づまり	掃除または交換	31
	・燃料に水の混入	燃料交換	18
	・スイッチ故障	販売店で修理	—
	・スパークプラグのカーボンたい積による短絡	掃除	29
	・プラグキャップの抜け	確実に取り付ける	—
	・マグネトー故障	販売店で修理	—
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	—
エンジン停止困難	・スイッチ故障	販売店で修理	—
	・アース線の断線	販売店で修理	—
	・エンジン過熱	アイドリングにして冷却	—
燃料の漏れ	・キャブレターのネジのゆるみ	販売店で修理	—
	・燃料パイプの破損	販売店で修理	—
	・燃料タンクの破損	販売店で修理	—

9．主な消耗品（お買い上げの販売店にご用命ください）

スパークプラグ	
フューエル フィルター	
エアフィルター	
刈刃	 のこ刃　 笹刈刃　 チップソー
グリス	

１０．仕様

モデル名		R 2200－S2	R 2200－SP	R 2200－SG
エンジン型式名		S 2200－S		
エンジン形式		空冷２サイクルエンジン		
排気量 ml {cc}		21.1		
内径×行程 mm		31×28		
点火方式		電子点火		
スパークプラグ		チャンピオンCJ8		
気化器		ダイヤフラム式（WYL）		
エアクリーナー		半湿式、消音形（防滴形）		
燃料タンク容量 L		0.5		
燃料		混合燃料（ガソリン：２サイクル専用オイル=25：１）		
始動方式		リコイルスターター（Softスタート）		
停止方式	トリガレバー	スライドスイッチ	スライドスイッチ	—
	ツインスロットル	スライドスイッチ	スライドスイッチ	スライドスイッチ
	固定レバー	押ボタンスイッチ	押ボタンスイッチ	押ボタンスイッチ
回転方向		上から見て反時計方向		
動力伝達方式		自動遠心クラッチ		
ハンドル		両手ハンドル	プラスチック片手ハンドル	２グリップ
スロットルレバー		ツインスロットル／トリガ式／固定式	トリガ式／固定式	ツインスロットル／固定式
刈刃		のこ刃、笹刈刃、チップソー		
取付穴径 mm		φ25.4		
外径 mm		φ230		
本体乾燥質量 kg		4.3	3.9	3.8
外形寸法 mm（長さ×幅×高さ）		1780×550×420	1780×215×230	1780×205×230

■ 本体乾燥質量は刈刃、ガード、ストラップを除く。
■ 仕様は予告なく変更することがあります。

新ダイワ工業株式会社

本社	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	☎ 082-849-2001
札幌営業所	〒065-0033	札幌市東区北三十三条東17丁目4-17	☎ 011-783-7551
仙台営業所	〒984-0042	宮城県仙台市若林区大和町1丁目22-45	☎ 022-239-1688
郡山営業所	〒963-0107	福島県郡山市安積4丁目48-1	☎ 024-945-8678
盛岡営業所	〒020-0122	岩手県盛岡市みたけ4丁目3-5	☎ 019-641-3416
東京営業所	〒134-0083	東京都江戸川区中葛西6丁目17-8	☎ 03-3687-5771
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀3丁目19-1	☎ 043-214-0260
多摩営業所	〒192-0043	東京都八王子市暁町2丁目6-3	☎ 0426-20-5590
横浜営業所	〒222-0025	神奈川県横浜市港北区篠原西町34-33	☎ 045-431-7786
厚木営業所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町5丁目47-18	☎ 046-228-2243
静岡営業所	〒422-8046	静岡市中島2834-1	☎ 054-282-7012
さいたま営業所	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町1丁目19-4	☎ 048-666-2521
宇都宮営業所	〒321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28	☎ 028-656-8737
土浦営業所	〒300-0815	茨城県土浦市中高津1丁目12-48	☎ 0298-24-5212
前橋営業所	〒371-0037	群馬県前橋市上小出町2丁目46-3	☎ 027-234-5956
長野営業所	〒381-0043	長野市吉田5丁目24-16	☎ 026-244-3970
松本営業所	〒390-0313	長野県松本市岡田下岡田73-8	☎ 0263-45-1005
新潟営業所	〒950-0892	新潟市寺山3丁目32-12	☎ 025-275-5616
名古屋営業所	〒454-0826	愛知県名古屋市中川区小本本町1-75	☎ 052-362-2281
浜松営業所	〒435-0053	静岡県浜松市上新屋町231-6	☎ 053-467-0394
津営業所	〒514-0823	三重県津市大字半田池町590-5	☎ 059-227-2716
岐阜営業所	〒500-8367	岐阜市宇佐南4丁目2-4	☎ 058-271-4015
金沢営業所	〒920-0016	石川県金沢市諸江町中丁344	☎ 076-237-1230
大阪営業所	〒556-0022	大阪市浪速区桜川4丁目11-20	☎ 06-6561-8484
和歌山営業所	〒640-8482	和歌山市六十谷1234-7	☎ 073-462-7277
京都営業所	〒601-8304	京都市南区吉祥院前河原町1	☎ 075-321-0141
姫路営業所	〒670-0974	兵庫県姫路市飯田2-88	☎ 0792-33-6838
松山営業所	〒790-0064	愛媛県松山市愛光町9-14	☎ 089-922-8886
高松営業所	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1638-7	☎ 087-843-1201
広島営業所	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	☎ 082-849-2400
防府営業所	〒747-0031	山口県防府市迫戸町5丁目25	☎ 0835-27-0575
岡山営業所	〒700-0965	岡山市西長瀬261-104	☎ 086-241-3013
福岡営業所	〒812-0006	福岡市博多区上牟田3丁目5-22	☎ 092-411-9801
小倉営業所	〒803-0826	福岡県北九州市小倉北区高峰町10-8	☎ 093-561-3422
諫早営業所	〒854-0062	長崎県諫早市小船越町1021-3	☎ 0957-23-3341
大分営業所	〒870-0155	大分市高城南町7-13	☎ 097-552-1745
熊本営業所	〒862-0910	熊本市健軍本町7-17	☎ 096-365-0484
宮崎営業所	〒880-0022	宮崎市大橋3丁目134-2	☎ 0985-23-2126
鹿児島営業所	〒890-0073	鹿児島市宇宿2丁目23-18	☎ 099-257-6801

030320